

# 第4回 水中考古学セミナー

## 研究事例とその魅力



### 第1部 講演 日本の水中考古学：ケーススタディ

- 日本における水中文化遺産と水中考古学の現状 (アジア水中考古学研究所：林原利明)
- 水中ロボットを利用した葛籠尾崎湖底遺跡の調査の現状と課題 (立命館大学：矢野健一/同修士課程：福島勇貴)
- 元寇遺跡の研究および船体構造哲学 (テキサスA&M大学・博士後期課程：Randall Sasaki)
- 瀬戸内海の海洋文化景観 (南カリフォルニア大学・博士後期課程：Michelle Damian)
- 四爪鉄錨の基礎的研究 (金沢大学・博士前期課程：松井広信)
- 勝浦ハーマン号海底遺跡の調査について (日本水中考古学調査会：井上たかひこ)

### 第2部 討論 “水中考古学の魅力”

ディスカッション 桜美林大学：Bruce Batten

多くのみなさまに水中考古学を知っていただきたく、  
どなたでも無料でご参加できます

〔席に限りがありますので、事前参加申し込みをお願いいたします〕

お問い合わせ [shipwreckarchaeology@gmail.com](mailto:shipwreckarchaeology@gmail.com) 090-5288-2255

日時：2012年10月6日(土) 13:15~17:15 [12:45 開場]

場所：桜美林大学四谷キャンパス 地下ホール

主催：桜美林大学大学院国際学研究科

ウェブサイト <http://www.nauticalarchaeology.jp.com>

Facebook <http://www.facebook.com/shipwreckarchaeology.japan>

Twitter [https://twitter.com/nautarch\\_japan](https://twitter.com/nautarch_japan)

